

令和4年(2022年)12月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2022年12月 数量 (トン)	2022年12月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	神奈川県産、千葉県産中心の入荷でした。天候に恵まれ順調な入荷となり、数量はかなり増加しました。平均単価もかなり高く推移しました。	698	73	138%	124%
2		はくさい	茨城県産中心の入荷でした。生育が良く順調な入荷となり、数量は増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	1,024	43	116%	109%
3		きゅうり	宮崎県産中心の入荷でした。気温の低下もあり、数量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	222	496	79%	148%
4		ねぎ	埼玉県産、茨城県産中心の入荷でした。東北産の切り上りが早く、数量は減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	195	379	78%	131%
5		馬鈴薯	北海道産中心の入荷でした。小玉中心となったため、平均単価はかなり安く推移しました。数量は増加しました。	426	116	118%	52%
6	果実	みかん類	温州みかんは入荷減となったが、紅まどんな他の入荷が順調であったため、数量は前年並みで推移しました。平均単価も前年並みで推移しました。	1,604	293	102%	101%
7		りんご類	近年になく順調な入荷で、数量は大幅に増加しました。平均単価は安く推移しました。	324	290	155%	83%
8		いちご類	各県産とも入荷が順調で、数量はやや増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	73	2,326	104%	95%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上